



「持続可能な社会の創り手を育てる学び ～SDGsの達成に資するカリキュラムの開発に向けて～」

2023年1月21日(土) 13:00～17:00

お申込みURL：<https://forms.gle/ZeQUexHwqA4HRPdE8> 申込締切1月20日、定員150名、参加費無料です。
お問合せ先：鈴木康弘（名古屋大学減災連携研究センター、resilience.nagoya@gmail.com）



主催：日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
後援：地理学連携機構、日本ESD学会、ESD活動支援センター、特定非営利活動法人ESD-J、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所

持続可能な世界と地域を目指す多くの活動がSDGs（国連持続可能な開発目標）を軸に展開されています。そこで重要なことの一つはそれらを担う人材の育成で、そのための学びの深化と普及、そして教育現場と学術との連携が不可欠です。SDGs達成に資する小中高のカリキュラムの開発について、多様な実践事例を参考にしながら、一緒に考えてみませんか。

総合司会：鈴木 康弘（日本学術会議連携会員、名古屋大学減災連携研究センター教授）
高倉 美帆（公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所研究員）

開会挨拶・趣旨説明（13:00～13:10）

氷見山幸夫（日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授）

第I部 初等教育のカリキュラム開発（13:10～13:55）

- 13:10～13:25 報告1「小3総合－生態系から学ぶ環境学習の模索と悩み」
新井 雅晶（東京都足立区立北鹿浜小学校副校長）
- 13:25～13:40 報告2「実験と観測データにもとづく小学校における海洋教育の教材開発」
丹羽 淑博（日本学術会議特任連携会員、国立極地研究所特任研究員）
- 13:40～13:55 報告3「水族館におけるオンラインを活用したプログラム開発」
天野 未知（公益財団法人東京動物園協会教育普及センター長）

第II部 中等教育のカリキュラム開発（13:55～14:40）

- 13:55～14:10 報告4「アサリの3D模型を活用したカリキュラム開発」
小川 博久（武蔵野大学非常勤講師）
小川 展弘（東京大学大気海洋研究所技術専門職員）
- 14:10～14:25 報告5「海洋ごみ問題への取り組みを通じた中高生の学びと成長」
井上 貴司（山陽学園中学校・高等学校教諭・企画広報部長）
- 14:25～14:40 報告6「北東アジアにおける平和教育共通カリキュラム作成の試み」
小林 亮（日本学術会議特任連携会員、玉川大学教育学部教授）
- 14:40～14:50 <休憩>

第III部 高等教育と教員研修のカリキュラム開発（14:50～15:35）

- 14:50～15:05 報告7「SDGsの普及啓発に資する大学地理教育の役割」
小田 宏信（日本学術会議特任連携会員、成蹊大学経済学部教授）
財城真寿美（成蹊大学経済学部教授）
- 15:05～15:20 報告8「ESD/SDGsの視点からの減災教育研修プログラムの開発と実践」
及川 幸彦（奈良国立大学機構・奈良教育大学准教授）
- 15:20～15:35 報告9「教職大学院カリキュラムにおけるSDGs導入の成果と課題」
本図 愛実（宮城教育大学教職大学院教授）
市瀬 智紀（宮城教育大学教育学部教授）

ディスカッション（15:35～16:55）

司会：窪川 かおる（日本学術会議連携会員、帝京大学先端総合研究機構客員教授）
コメンテーター：春日 文子（日本学術会議連携会員、国立環境研究所特任フェロー）
日置 光久（日本学術会議連携会員、希望が丘学園統括顧問）

閉会挨拶（16:55～17:00）

谷口 真人（日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所副所長）